

お知らせ

ロータリー財団管理委員会委員 三木 明

2021-25 年度のロータリー財団管理委員を仰せつかりました三木明でございます。4 年間の長丁場ですが、皆さまのご指導を得ながら微力ながら財団の発展に力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

シェカール・メータ国際ロータリー会長とジョン・ジャムロータリー財団管理委員長の新年度がいよいよ始まりました。新しい年度のスタートに心が弾みます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄された 1 年でしたが、このパンデミックの中でもロータリーは、歩みを止めることなく前進しました。ロータリアンの勇気と行動力に感動を覚えます。

アーチ・クランフが言ったように「ロータリーは後退することもなければ、歩みを止めることもない。ロータリーは前進しなければならない」のです。ロータリー財団は、「世界でよいことをしよう」を合言葉に世界中で人道的奉仕を行っています。長年の夢である子どもたちとの約束を果たす日が近づいています。それは、ポリオ根絶です。今年の 1 月に、アフガニスタンとパキスタンにそれぞれ 1 人ずつ男児の発症が見られて以来、野生型ポリオウイルスによる発症は見られておりません。

世界中のロータリアンが子どもたちとの約束を果たせる日がすぐそこまでやって来ているのです。約 1 年前に、WHO はアフリカ全土での野生型ポリオウイルス根絶を宣言しました。残る二つの国にも同じように吉報が届くことを待ちわびているところでもあります。

さて、アフリカ・ウガンダ共和国の首都カンパラにあるマケレレ大学にロータリー平和センターが創設されました。アフリカの若い人びとが平和について学び、行動してくれる大きな機会を得ることができるようになりました。この平和センターの設立には、日本の第 2760 地区愛知県のロータリアンが準備段階から大きく関わって下さいましたことを申し添え、感謝の言葉を贈りたいと思います。本当にありがとうございます。

また、アメリカのオットー＆フラン・ウォルター財団のご支援により、数年後には中東か北アフリカにもロータリー平和センターが設立されることになりました。

そして、嬉しいお知らせがもう一つあります。昨年度、日本のすべてのクラブから年次基金へのご寄付を頂きました。年次基金へ寄付されなかったクラブはゼロという事です。このことは、世界に向けて大きく発信できる快挙であります。全てのクラブの皆さま方の財団へのご理解、ご支援に心から感謝申し上げます。加えて、RRFC や E/MGA などの地域リーダーの皆さま、地区ガバナーの皆さまの地道なお声がけ、ご尽力をありがたく思います。



[My ROTARY RIレポート](#)
[寄付送金明細書](#)
[寄付・認証の手引き](#)

2021-22年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億2,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル (ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:9,500万ドル (2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,000万ドル (グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり 150 ドル
- ・ポリオプラス:一人当たり 30 ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1 万ドル以上のご寄付 100 件、AKS10 名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへ DDF の 20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へ DDF 寄贈
- ・各地区が DDF を使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 217
AKS会員数 49
PHS会員数 1096

日本のロータリアンが、世界の人々の健康と幸せを願い、財団の未来を担って下さっていることを実感し、「世界でよいことをしよう」を行動で表して下さいに感謝申し上げます。

本年度も皆さまの安全とご健康をお祈り申し上げます。
感謝を込めて。

お知らせ

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての[最新情報](#)や、ロータリーの資金が提供される「[不可欠な旅行](#)」の再開についてもご確認ください。

【ロータリーの新会長】

シェカール・メータ氏はカルカッターマハナガル・ロータリークラブの会員で、1984年からロータリアンとして活動しています。会計士として経験を積み、自らが会長を務める不動産会社 Skyline Group を設立しました。しかし職業上の肩書きは、彼の人の一端でしかありません。シェカール氏は、カナダを拠点として回避可能な失明を防ぐ活動に取り組む非営利団体、Operation Eyesight Universal インド支部の理事でもあります。同氏はこれまでに、インドの各州で15カ所を超える眼科医院の設立を支援してきました。記事は[こちら](#)

【フィンランドの退職した医師、新型コロナワクチンを数千人に接種】

新型コロナワクチンが間もなく承認されるというニュースがフィンランドで流れ始めた1月初旬、同国の保健当局は、沸き立つ国民に対し、ワクチン供給と投与者の訓練に時間がかかることを伝えていました。

共に退職した医師であるマッティ・ホンカラさんとビルピ・ホンカラさんのご夫妻は、ワクチン投与者が不足する可能性について知り、ボランティアとして活動するために地元の医療責任者に連絡しました。

記事の続きは[こちら](#)

【ロータリーのレインボー】

アトランタで開催された2017年ロータリー国際大会。そこで行われた「LGBTQコミュニティをロータリーファミリーへ」と題する分科会で、オハイオ州から来たロータリークラブ会員、ミシェル・ウィルソンさんが次の質問をしました。「ロータリーにはなぜLGBT+の人たちのグループがないのでしょうか?」。ウィルソンさんは、こう続けました。「そのようなグループを作るべきです」。この発言への反響は、本人さえ驚くほど大きなものでした。

記事の続きは[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[EU 一般データ保護規則 \(GDPR\) について](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[携帯用カード](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

[地区ロータリー財団委員会要覧](#)

[地区ロータリー財団セミナーの手引](#)
(zip)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

【子ども食堂とともに歩むロータリークラブ】

ロータリーボイスに藤野直子氏(名古屋名東ロータリークラブ会員)の記事が掲載されました。以下はその抜粋です。

皆さんは、「子ども食堂」をご存知ですか？

「夏休みに、一日の食事がバナナだけ」というお子さんがいることを知った東京都大田区の八百屋さんが、ご飯を食べさせてあげたことから「子ども食堂」は始まりました。それから9年、今では日本中に、約5000カ所もの「子ども食堂」ができました。地域のボランティアグループなどが運営する子ども食堂では、無料または安い金額で食事を用意しています。本当に空腹なお子さんでもいれば、わいわい楽しいから来るお子さんもいます。「子ども食堂が、唯一の外出」というシングルマザーの親子も来ます。「一人で食べるご飯はつまらない」と言って、子ども食堂のボランティアをしてくれるおじいちゃんもいます。学校には足が向かない中学生がお子さんの遊び相手になってくれたり、大学生が宿題を教えたり、それぞれの思いやりと優しさが集まって“心休まる居場所”となっているのが「子ども食堂」なのです。記事の続きは[こちら](#)

寄付・認証

【寄付・認証の手引き 更新】

財団室では、「寄付・認証の手引き」を作成し毎年更新しております。ご寄付の手続き方法や認証についてなど、日頃より皆様から多くいただくお問い合わせをもとに情報をまとめておりますので、ぜひご活用いただけましたら幸いです。

[寄付・認証の手引き 2021-22 年度版](#)



【寄付記録と確定申告用領収証について】

国際ロータリーで行っている世界的な財務管理システムの移行にあたり、7月以降にいただいたご寄付について、My ROTARYからご覧いただける各種レポートにおける寄付記録の確認及びこちらから発送している寄附明細、認証品等のお届けまで1、2か月の遅れが生じる見込みです。皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、1月～6月にご寄付をいただいた個人寄付者の皆様への確定申告用の領収証は、8月中旬頃、各ロータリークラブ宛にお送りする予定です。

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS パンフレット](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関する
プレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

<DDF の寄贈>

ポリオプラス基金に DDF (地区財団活動資金) を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WF からの組み合わせ上限額は500 万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限 5,000 万ドルです。

• [DDF オンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ 1,500 ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDF の20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

更新されました！

【表彰】

- ロータリー最優秀学友会賞 推薦期間：7月1日～9月15日
- ロータリー学友世界奉仕賞 推薦期間：7月1日～9月15日
- ポリオのない世界を目指す奉仕賞 推薦期間：7月～10月1日

詳細、推薦手続きは、[My ROTARY「各種賞・表彰」](#)よりお願いいたします。

ポリオプラス

【ポリオ根絶のための活動をご計画ください】

10月24日は「世界ポリオデー」です。例年、世界中のロータリークラブやローターアクトクラブが、この日にちなんだ様々な活動を実施しています。



昨年は、[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)の脅威にも屈せず、日本の多くの会員がポリオ根絶活動に尽力](#)されました。あらためて、会員の皆さまの結束と活動に感謝申し上げます。皆さまの「ポリオ根絶活動」のご経験は、今後、新型コロナウイルス感染症に限定されないパンデミック(感染症の世界的流行)への対応を支える力となります。

ロータリーには、ポリオワクチンの供給と啓発を通じてポリオを根絶間近としてきた長年の経験があります。この1年では、新型コロナウイルス感染症への対応で、ポリオ根絶活動のインフラが活用されました。新型コロナウイルス感染症からの回復が期待される今年度、活動の規模や形態を問わず、各地区、クラブで実施できるポリオ根絶のための活動をぜひご計画ください。

ご協力を何卒お願いいたします。

[「世界ポリオデー：大きな達成に焦点」](#)

[「コロナ禍でもポリオ根絶活動が継続」](#)

[「WHOアフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶：認定にいたる道のり」](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2021年 1月1日～ 7月20日	2020	2019	2018
常在国	パキスタン	1	84	147	12
	アフガニスタン	1	56	29	21
	世界合計	2	140	176	33

＜補助金＞

[ロータリーの補助金](#)

[地区補助金とグローバル補助金授](#)

[与と受諾の条件](#)

[補助金による旅行](#)

[トラベルバンリスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

＜重点分野＞

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

＜プロジェクトのヒント＞

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

＜オンライン申請＞

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[グローバル補助金申請のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

＜奨学金＞

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

＜資格認定＞

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

補助金

【報告期限と My ROTARY の登録について】

● 報告期限

グローバル補助金の報告は、支払いから1年以内に中間または最終報告書を提出します。奨学金の場合でも授業の開始や渡航日からではなく、支払い日から1年が期限となりますので、補助金センターで期限を確認して、早めにご提出いただくようお願いいたします。特に同じ受け入れクラブや地区が、新たな奨学生受け入れプロジェクトを申請している場合、報告が遅れると承認や支払いができなくなります。

支払いから13か月などわずかに1年を超えてしまう場合は、早めに一度中間報告書を提出するか、帰国や論文提出などの終了前に報告書を提出することもできます。早めに提出するには資金を使い切っていることが必要です。

● My ROTARY のログイン

申請時にログインした後、長期間ログインしていない場合、My ROTARY の登録がリセットされている場合があります。設定したパスワード等で開けない場合は、一度再登録もお試しく下さい。登録済の場合は、既に登録されている(An active account already exists for this email address.)というメッセージが表示されます。

【旅行、交通費を含むプロジェクトについて】

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響から、補助金を利用した国内外の旅行は12月31日まで認められておりません。そのため補助金承認後も12月31日まで旅行や交通費を含むプロジェクトは実施することはできず(奨学金プロジェクトは可能)、12月31日以降は状況次第となりますことご留意ください。(旅費、交通費に補助金を利用しない場合は、実施可能です。各国や自治体の案内もご確認ください。)

My ROTARY「[ロータリーの費用による旅行](#)」もご参照ください。

また、国により、日本からの入国制限や入国後の行動制限などの措置が取られる場合もありますので、[外務省のホームページ「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限」](#)や受け入れ地区やクラブ、留学先の大学、協力団体などからの情報もよくご確認ください。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。

2021年6月25日～7月26日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2760	名古屋北	岡部 勢	2660	大阪西南	四宮 孝郎
2790	市川	芝田 弘一	2550	足利東	中谷 研一
2780	平塚西	山田 雅孝	2680	神戸東	松井 照男
計 6 名					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)

[My ROTARY 写真&動画](#)

[Rotary Video\(日本語\)](#)

[ロータリーの動画\(vimeo\)](#)

[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

8月2日	大規模プログラム補助金 コンセプトノートの提出締め切り
9月13～14日	ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)
9月15日	ロータリー最優秀学友会賞、ロータリー学友世界奉仕賞の推薦期間締切
9月15日	2022-23年度の地区研修リーダーのためのセミナー(DTS)
10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞の推薦期間締切
12月5日 6日 7～8日	第50回ロータリー研究会 財団地域セミナー メジャードナー午餐会 GETS・GNTS 他 ロータリー研究会

国際ロータリー日本事務局財団室

〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28

三田国際ビル 24 階

Email: RIJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はありません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。